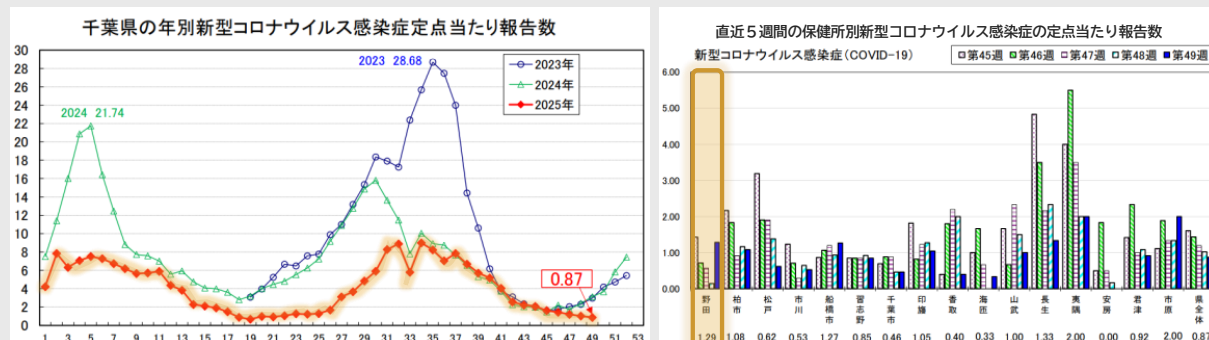


野田地域感染症情報

のた
PHC

新型コロナウイルス感染症発生状況

第49週の千葉県内新型コロナウイルス感染症発生状況



2025 年第 49 週の県全体の定点当たり報告数は、前週の 1.02 人から減少して、0.87 人となりました。地域別では、夷隅／市原 (2.00)、長生 (1.33)、野田 (1.29) 保健所管内が多い状況です。

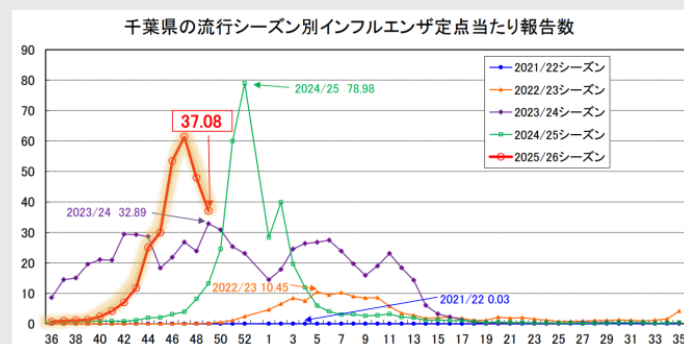
年代別の患者報告数では、10 歳未満が 29 例 (18.2%) で最も多く、次いで 50 代が 24 例 (15.1%)、70 代が 19 例 (11.9%) と続いています。

2025 年第 49 週の千葉県の新型コロナウイルス感染症の定点当たり報告数：0.87 人
患者報告数 159 例 / 報告定点医療機関数 182 施設

▼ 引用・参考 [千葉県の新型コロナウイルス感染症の発生状況 2025 年第 49 週](#)

2025/26シーズン_インフルエンザ発生状況

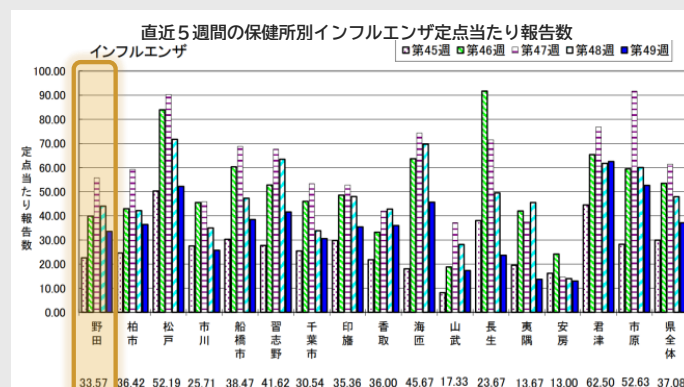
第49週の千葉県内インフルエンザ発生状況



2025 年第 49 週の県全体の定点当たり報告数は、前週 (47.93) から減少して、37.08 人となりました。地域別では、君津 (62.50)、市原 (52.63)、松戸 (52.19) 保健所管内が多い状況です。

定点医療機関の協力による迅速診断結果について、今週は 5,926 例中 A 型 5,811 例 (98.1%)、B 型 57 例 (1.0%)、A and B 型 3 例 (0.1%)、A or B 型 55 例 (0.9%) でした。

また、2025/26 シーズン全体では、46,452 例中 A 型 45,651 例 (98.3%)、B 型 369 例 (0.8%)、A and B 型 40 例 (0.1%)、A or B 型 392 例 (0.8%) でした。



近隣保健所の発生状況

茨城県	竜ヶ崎 H C	▶ 24.64
	古河 H C	▶ 22.80
埼玉県	春日部 H C	▶ 59.50
	草加 H C	▶ 48.18
	幸手 H C	▶ 124.67

▼ 引用・参考 [2025/26 シーズン 千葉県のインフルエンザ発生状況 2025 年第 49 週](#)

注目トピックス

- 世界のインフルエンザ流行状況 (WHO 2025.12.3)
- 東京都 麻しん(はしか) 患者の発生について (東京都 2025.12.4)
- 抗インフルエンザ薬耐性株サーベイランス (JIHS 2025.12.4)



インフルエンザウイルスの“サブクレードK”について

サブクレードとは

インフルエンザウイルスは、「型 (A型・B型) → 亜型 (H1N1・H3N2など) → クレード (系統群)」と分類されるが、さらにその下に「サブクレード (subclade)」という遺伝子変異により異なるグループを示す細分類がある。この「サブクレード (subclade)」には、J.2, J.2.4, K (J.2.4.1) 等があり、季節性インフルエンザウイルスの変異の積み重ねによるものである。

サブクレードKの発生状況

- 2025年夏以降、国内外において、インフルエンザウイルスA/H3N2 (subclade K) が確認されている。
- 当該ウイルスについては、これまでのウイルスと比較し、感染が拡大するスピードが早いものの、症状や重症度は従来の季節性インフルエンザと大きく変わらないものと想定されている。
- 国内においては、
 - ・ 9月以降、11月5日までに採取された国内株において、解析できたH3ウイルス23株のうち22株がサブクレードK (約96%)
 - ・ 入国時感染症ゲノムサーベイランス事業においては、9月以降、11月17日までに採取された検体について、212検体がH3ウイルス陽性で、うち154検体がサブクレードK (約73%)

ワクチン・治療薬の有効性

- 本年の不活化インフルエンザHAワクチンに、インフルエンザウイルスA/H3N2株は含まれている。
- 実際に、流行しているインフルエンザウイルス流行株とワクチン株に、抗原性 (免疫の反応性の程度) に違いがあったとしても、一定程度の有効性が保たれるとする報告もある。
- 通常の抗インフルエンザウイルス薬が有効であると想定されている。

予防・感染対策

- 基本的な感染対策は同様であり、こまめな手洗いやマスクの着用を含む咳エチケットが重要である。また、ワクチン接種による予防も有効である。

▼ 引用・参考

[インフルエンザウイルスのサブクレードKについて \(厚生労働省 2025.12.1\)](#)

AMR (薬剤耐性 (Antimicrobial Resistance)) 情報

列島縦断AMR対策事例紹介シリーズ

保健所による感染症対策ネットワーク活動への積極的な関与を支援～「院内感染対策ネットワークと保健所の連携推進事業班」の取り組み～

このコーナーでは、薬剤耐性 (AMR) 対策のさまざまな話題をご紹介します。第27回で取り上げるのは、「院内感染対策ネットワークと保健所の連携推進事業班」の取り組みです。本事業班では、保健所が地域のハブとなって、AMR対策を含む感染症対策の推進や地域のネットワーク構築に積極的に関わることを支援しています。その背景や具体的な取り組みなどについて、前班長の豊田誠先生と現班長の近内美乃里先生に伺いました。詳細は以下のリンク先からご覧いただけます。

▼ 引用・参考 [列島縦断AMR対策事例紹介シリーズ AMRリファレンスセンター](#)

野田保健所管内感染症発生状況

定点把握対象の五類感染症

千葉県感染症天気図 2025年 第49週

定点当たり報告数=報告数/定点医療機関数				下段は報告数				
定点	疾 病 名	流行状況	コ メ ン ト	49週	48週	47週	46週	45週
眼科	眼科定点医療機関数			34	33	33	34	34
	急性出血性結膜炎			0.03	0.03	0.00	0.00	0.00
				1	1	0	0	0
	流行性角結膜炎		野田(3.0)、印旛(1.3)、市川/長生/市原(1.0)	0.56	0.52	1.00	0.56	0.50
				19	17	33	19	17

野田保健所管内において、

「流行性角結膜炎」

の発生が県内平均を大きく超えています。ご注意ください。

全数把握疾患			結核		
3類	4類	5類	活動性肺結核	活動性肺外結核	潜在性結核
0	0	0	喀痰塗抹 (+)	喀痰塗抹 (-)	
なし			0	0	0

バックナンバーはコチラ

▶ [野田地域感染症情報](#)

参考文献リンク集

- ▶ [国立健康危機管理研究機構 感染症発生動向調査週報 \(IDWR\) 最新版](#)
- ▶ [厚生労働省・検疫所FORTH](#)
- ▶ [厚生労働省 感染症情報](#)
- ▶ [国立感染症危機管理研究機構](#)
- ▶ [AMR臨床リファレンスセンター](#)
- ▶ [千葉県感染症情報センター](#)
- ▶ [感染対策共通プラットフォーム \(J-SIPHE\)](#)
- ▶ [診療所版J-SIPHE | OASIS](#)

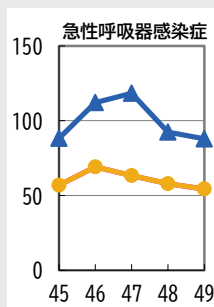
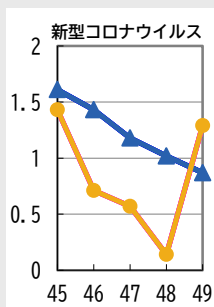
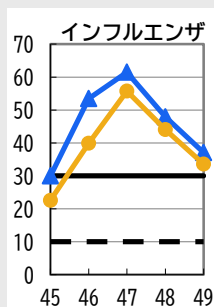
発行 / 編集

NDPHC | 千葉県
野田保健所

各種申請はコチラから



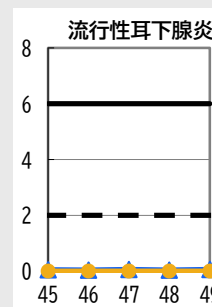
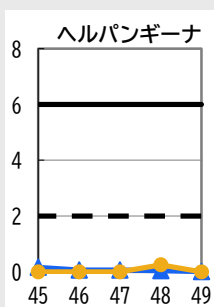
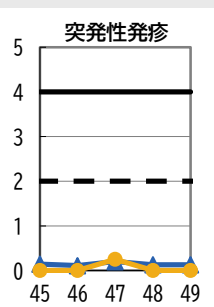
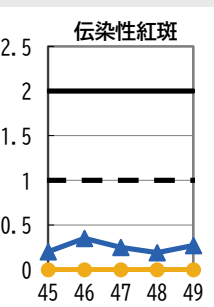
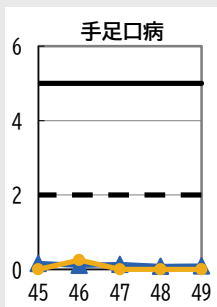
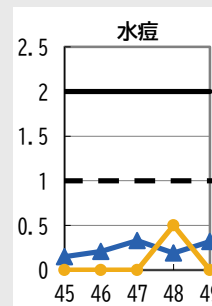
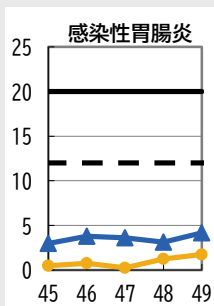
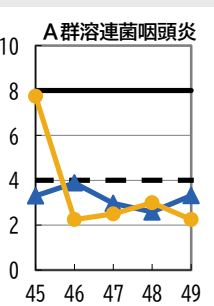
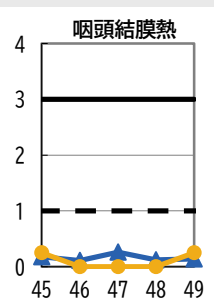
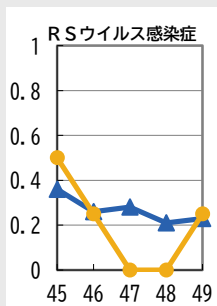
急性呼吸器感染症



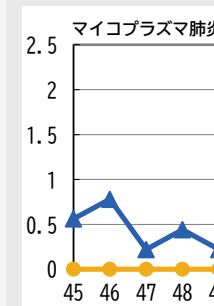
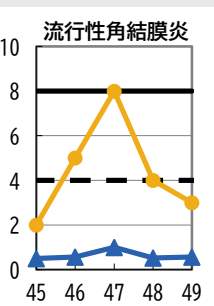
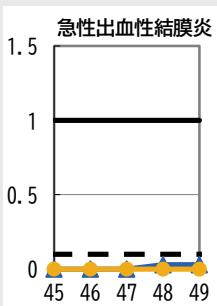
● 管内 --- 解除基準値
▲ 県全体 — 警報基準値

マイコプラズマ肺炎は基幹定点医療機関のみ報告（野田保健所管内に基幹定点はありません）
RSウイルス感染症・マイコプラズマ肺炎・
新型コロナウイルス感染症は警報基準値等の設定はありません。
令和7年4月7日より定点報告疾患に「急性呼吸器感染症」が追加されました。

小児科



眼科



基幹病院

（グラフの見方）

※疾患により警報基準値は異なります

グラフの横軸は、「週数」を表します。また、縦軸は「定点あたり報告数（患者数）」を表します。「定点」とは、保健所に患者の発生を報告してくれる医療機関のことで、「定点あたり報告数」とは、定点一か所から一週間にどの位の患者報告があったかの平均値を表します。この数値により野田保健所管内の当該感染症の流行状況が把握できます。